

*if*文の用法  
～3つの観点に基づく分類～<sup>1</sup>

森 靖子

キーワード: *if*文、仮定法、条件

要旨

本研究の目的は *if*文の用法を把握することである。研究を行うに至った経緯としては、教育実習で仮定法過去の部分を担当した経験が出発点である。その時に仮定法過去は直感的に難しいと認識している生徒が多かったように感じ(実際に適切な使用ができるかどうかは別として)、何故そのような感じる生徒がいるのか不思議に思った。しかし、仮定法について少し調べてみると、仮定法そのものの問題というよりも *if*節内で仮定法が用いられるもの (e.g. If I knew what you wanted, maybe I could help you. (Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 449)) と、そうでないもの (e.g. If I missed the last train, I just stayed over with friends. (Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 450)) との用法の混同が起こっているのではないかと仮定した。そのような問題意識に基づき、本研究では *if*文の用法を、実際の使用例としてコーパスから 100 例・映画から 80 例の例文を抽出し 3つの観点に基づき分類した。その結果、*if*文の用法を 16通りに分類することができた。

1. はじめに -本研究で扱う *if*文-

まずは例文を見てみよう。

(1) If it rains tomorrow, I'll stay home.

---

<sup>1</sup>本稿は森 (2015) の一部を加筆・修正したものである。

(もし明日雨が降れば私は家にいます) (小西 南出, 2006)

(2) It's safer if you use a bank.

(銀行を利用した方が安全だ) (小西 南出, 2006)

(3) If he tried harder, he would succeed.

(一生懸命やれば彼は成功するだろうに) (小西 南出, 2006)

(1)-(3)のように、副詞節を導く接続詞の *if* が使用されている文をこの研究では *if* 文と呼ぶ。よって、ここでは *if* が、目的格名詞節を導くもの (e.g. He asked if I liked Chinese food.

「彼は私に中華料理が好きかと尋ねた」(小西 南出, 2006)) は扱わず、副詞節を導くものを扱う。

*if* 文は、*if* 節 ((1) の *if it rains tomorrow*、(2) の *if you use a bank*、(3) の *if he tried harder*) と主節 ((1) の *I'll stay home*、(2) の *it's safer*、(3) の *he would succeed*) から構成される。

(1)と(3)のように *if* 節が先行するものと、(2)のように主節が先行するものがあるが、前者の場合、コンマ (,) によって *if* 節と主節が分けられる場合がある (Swan, 2005, p. 256)。

## 1.1 典型的な *if* 文のパターン

Carter and McCarthy (2006, 項目番号 449) は、*if* 節によく使われるものとして First, Second, Third conditionals を挙げている。

### 1.1.1 The first conditional

*if* + 単純現在 + 未来について言及する助動詞 (e.g. *will/shall/may*)

(4) If Sally comes too, there'll be five of us.

(サリーも来れば5人になる) (Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 449)

The first conditional の場合、もし条件が満たされたら、未来で話し手や書き手の予測通りになる可能性がある (Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 449)。(4) では、元々4人がその場に居て「もしサリーも来れば」という条件が満たされれば、5人になるという解釈ができる。

### 1.1.2 The second conditional

if+ 単純過去+過去の時点で未来に言及する助動詞 (e.g. *would/could/might*)

(5) If I knew what you wanted, maybe I could help you.

(何を欲しいか知っていれば助けることができるのですが)

(Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 449)

The second conditional の場合、話し手や書き手は、現在もしくは未来において、現実とは異なり、想像された仮定について言及する (Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 449)。日本の学校文法では「仮定法過去」とも呼ばれる。(5)は、実際には聞き手が何を欲しいのかわらなかつたが「もし知っているなら」という条件が満たされた場合、話者は聞き手を助けることができるのに、という解釈ができる。

### 1.1.3 The third conditional

if+ 過去完了+過去の時点で未来に言及する助動詞 (e.g. *would/could/might*) + *have* + *-ed* participle

(6) If I had seen you walking, I could have offered you a lift.

(歩いているのを見ていたら乗せて行けたのに)

(Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 449)

The third conditional の場合、話し手や書き手が想像した過去の状況が表現される。ここでは、話し手と書き手は過去の起こらなかった出来事について話している (Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 449)。日本の学校文法では「仮定法過去完了」とも呼ばれる。(6)は、実際には聞き手が歩いているのを話し手は見なかつたが「もし見ていたら」という条件が満たされた場合、車に乗せていくことができたのに、という解釈ができる。

## 2. 分類方法

この研究では Carter and McCarthy (2006) による Real と Unreal の2分類、Farr and McCarthy<sup>2</sup>による *if*節と主節の動詞パターンによる分類、Sweetser (1991) による Content, Epistemic, Speech-act の3分類に基づいてネイティブスピーカーの *if*の使用を分類・分析する。

### 2.1 Real conditional, Unreal conditional による分類 (Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 450)

Carter and McCarthy (2006)は、*if*節は Real conditional と Unreal conditional について言及することができるかと述べている。

(7) If Sally comes too, there'll be five of us. (= (4))

(サリーも来れば5人になる) (Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 450)

(8) If I knew what you wanted, maybe I could help you. (= (5))

(何をしたいか知っていれば、手伝えるかもしれないのですが)

(Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 450)

Real conditional は、真である事 (e.g. If I feel like some exercise, I take the dog for a walk. (Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 450))、すでに起こった事 (e.g. If I missed the last train, I just stayed over with friends. (Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 450))、一般的に起こる事 (e.g. If<sup>3</sup> steel is exposed to air and water, it resists rust for a considerable length of time. (Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 450))、起こりそうな事 (e.g. (7)) の条件を表すことができる。ここで動詞の典型的パターンは First conditional とその他のパターンである (Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 450)。

(7)は Real conditional の文である。現時点では4人しかいないが、サリーも来るという条件を満たした未来においては5人になるという意味で、起こりそうな事を表している。

<sup>2</sup> Farr, F and McCarthy M.J. (2002) 'Expressing hypothetical meaning in context: theory versus practice in spoken interaction.' Paper read at *The Teaching and Language Corpora Annual Conference*, Bertinoro, Italy, July 27<sup>th</sup>-30<sup>th</sup>, 2002 (O'Keeffe, McCarthy, & Carter, 2007 を参照)

<sup>3</sup> この文において *if* は *even if* の解釈を受ける。

Unreal conditional は、真ではない事 (e.g. (8))、想像された事、起こらなかった事 (e.g. (6))、起こりそうにない事の条件を表すことができる。ここで使われる動詞の典型的パターンは Second と Third conditional である (Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 450)。

(8)は Unreal conditional の文である。実際には相手が何をしたいか知らないが、知っているとして仮定した場合、手伝うことができるという意味で、真ではない事を表している。

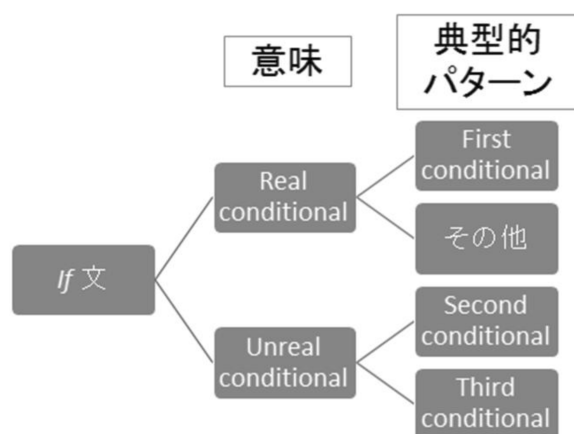


図 1 Real conditional と Unreal conditional と典型的パターン

## 2.2 if節と主節の動詞パターンによる分類 (Farr & McCarthy)

Farr and McCarthy は、POTTI<sup>4</sup>内の if節内の動詞パターンと主節内の動詞パターンを分析した。その結果は表 1 の通りである。

表 1 POTTI 内の if節 (O’Keeffe, McCarthy, & Carter, 2007, p. 128)

	<i>if</i> sentences ( <i>if</i> + subordinate clause + main clause)	occurrences
①	<i>if</i> + present simple + present simple / progressive	55
②	<i>if</i> + present simple + modal (traditional type 1 = first conditional)	28
③	alternative <i>if</i> structures	25
④	<i>if</i> + past simple + modal (traditional type 2 = second conditional)	23
⑤	<i>if</i> + present simple + imperative	11
⑥	<i>if</i> + past simple + past simple	10
⑦	<i>if</i> + past perfect + modal perfect (traditional type 3 = third conditional)	8
	Total	160

<sup>4</sup> POTTI: 60,000-word Post-Observation-Teacher-Training interaction Corpus

注目したい点は、First conditional (②)、Second conditional (④)、Third conditional (⑦) よりも (合わせると 59 例)、その他のパターン(①、③、⑤、⑥)<sup>5</sup>の方が多くなっている点 (合わせると 101 例) である。

### 2.3 Content conditional、Epistemic conditional、Speech-act conditional による分類

(Sweetser, 1991, pp. 113-121)

Sweetser (1991) は条件文を Content conditional (内容条件文)、Epistemic conditional (認識条件文)、Speech-act conditional (発話行為条件文) の 3 つに分類した。

Content conditional は、現実世界、つまり内容領域における条件文である。if 節で述べられている事は、主節で述べられている事の実現のための十分条件である。「A (if 節) ならば、B (主節) である」(Sweetser, 1991, pp. 113-116) 「A (if 節で述べられた出来事) が起これば、B (主節で述べられた出来事) が起こる」という関係で、A の方が先に起こり、B は後で起こるとも言えるだろう。

(9) If Mary goes, John will go.

(メアリーが行けば、ジョンも行く) (Sweetser, 1991, p. 114)

(10) If I were president, I'd sell the White House's Limoges china to fund bilingual education.

(私が大統領なら、ホワイトハウスのリモージュ陶磁器をバイリンガル教育の資金とするために売るのになあ) (Sweetser, 1991, p. 114)

(9) の場合、if 節の「メアリーが行けば (A)」は、主節の「ジョンも行く (B)」の実現のための条件であり、「メアリーが行かないと、ジョンも行かない」と言うことができる。(10) の場合、if 節の「私が大統領なら (A)」は、主節の「ホワイトハウスのリモージュ陶磁器をバイリンガル教育の資金とするために売る (B)」の実現のための条件である。しかし、この文には Second conditional が用いられており、真ではない事を表す Unreal conditional の

<sup>5</sup> POTTI のコーパスデータが公開されていないため、Carter and McCarthy (2006) から推測すると、if + present simple + present simple (e.g. If I feel like some exercise, I take the dog for a walk. (Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 450)), if + present simple + imperative (e.g. If you get bad migraines, try a homeopathic cure. (Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 450)), if + past simple + past simple (e.g. If I missed the last train, I just stayed over with friends. (Carter & McCarthy, 2006, 項目番号 450)) などが含まれると思われる。

文であるため、話し手は大統領ではないが、もし大統領なら、ということを仮定して話している」と解釈できる。

Epistemic conditional は、認識領域における条件文である。if節で述べられた仮定の知識は、主節で述べられている結論のための十分条件である。「A (if節) ということならば、B (主節) ということだ」(Sweetser, 1991, pp. 116-117)。Dancygier<sup>6</sup>は「if節に示される事実に基づいて帰結節で示される結論を引き出す」と述べている。前述の Content conditional の「A が起これば、B が起こる」という関係とは異なり、A が先に起こり、B が後に起こるとは言えない。

(11) If she's divorced, (then) she's been married.

(彼女が離婚したというのなら、(そうなら) 彼女は結婚したことがあるということだ) (Sweetser, 1991, p. 116)

(12) If John went to that party, (then) he was trying to infuriate Miriam.

(ジョンがそのパーティーに行ったとすれば、(そうだとすれば) それはミリアムを怒らせようとしたのだ) (Sweetser, 1991, p. 116)

(11)の場合、if節の「彼女が離婚したなら(A)」という仮定は、主節で「彼女は結婚したことがある(B)」と結論づけるための条件である。(12)の場合、if節の「ジョンがそのパーティーに行ったなら(A)」という仮定は、主節で「それはミリアムを怒らせようとしたのだ(B)」と結論づけるための条件である。(9)、(10)のいずれも、if節で述べられていることを知ったことによって、主節のように結論づけている。このように、Epistemic conditional はif節の条件と主節の結論の間に、推論という脳内での処理が加わっていると言えるだろう。

Speech-act conditional は、条件付き発話行為を表す文である。if節で述べられていることは、発話行為をするための条件である。発話行為に関する条件に明示的に言及するもの(e.g. (13)) もあれば、一方で暗示的に言及するもの(e.g. (14)) もある。明示的に言及するものも、暗示的に言及するものも「A (if節) ならば、B (主節) の発話行為をする(と考える)」という公式に当てはめられる(Sweetser, 1991, pp. 118-121)。

(13) If I haven't already asked you to do so, please sign the guest book before you go.

---

<sup>6</sup> Dancygier, B. (1998) *Conditionals and Prediction*. CUP (柏野, 2010 を参照)

(まだお願いしていませんでしたら、お帰りになる前に宿泊者名簿に記入をお願いします) (Sweetser, 1991, p. 118)

(14) There are biscuits on the sideboard if you want them.

(欲しいなら、サイドボードの上にビスケットがあるよ) (Sweetser, 1991, p. 119)

(13)の場合、*if*節の「まだお願いしていなかったら(A)」という条件が満たされれば、その場合、主節のように「お帰りになる前に宿泊者名簿に記入をお願いします」と依頼(発話行為)(B)している。(14)の場合、*if*節の「欲しいなら(A)」という条件が満たされれば、主節の「サイドボードの上にビスケットがあるよ」という告知(発話行為)をする(B)、と言及している。

## 2.4 分類方法まとめ

これら3つの分類方法(Real conditional、Unreal conditionalによる分類、*if*節と主節の動詞パターンによる分類、Content conditional、Epistemic conditional、Speech-act conditionalによる分類)をまとめると図2のようになる。

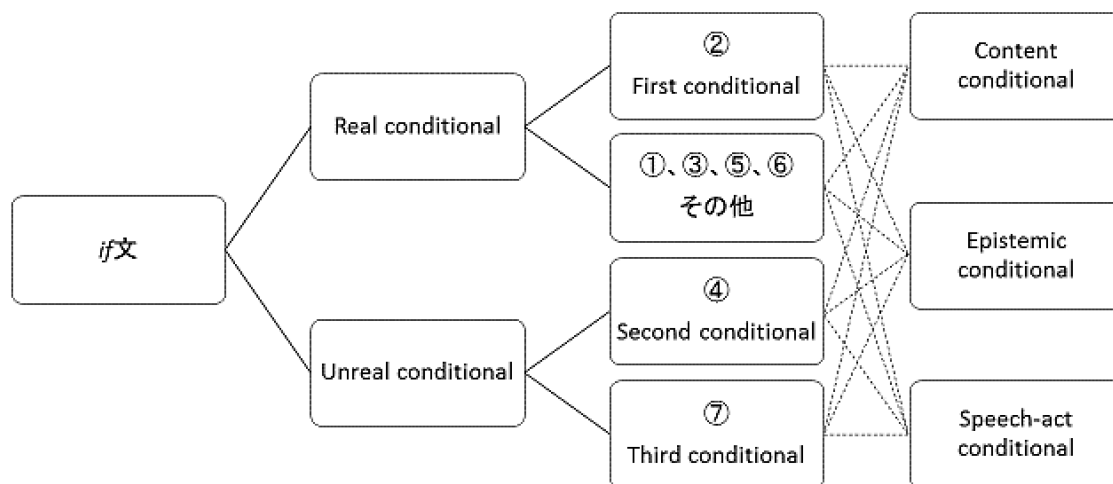


図2 分類方法まとめ



if文の使用はこの図のように分類できるのだろうか。「その他」の中にどのようなパターンが含まれているのか (Farr and McCarthy では、if+ present simple + present simple / progressive、if+ present simple + 命令、if+ past simple + past simple が挙げられているが、他にどんなパターンが用いられているのだろうか)。3つの分類方法はどのような関係になるのか(図の点線部に繋がりがあのか、例えば Real – First conditional – Content conditional のような傾向はあるのか)。本研究では、今まで述べた3つの分類方法に基づいて、実際の使用(コーパスと映画から例文を抽出)を分類・分析する。

### 3. 分類・分析

本研究では、実際の使用例をコーパスと映画から収集し、分類・分析を行う。コーパスから (COCA; *The Corpus of Contemporary American English* からの Fiction セクション内、Movie サブセクション全 15,995 例中) ランダムに 100 例を 88 本の映画から収集し、映画から 80 例を 3 本の映画 (*Drumline*, 2002; *Forrest Gump*, 1994; *The Blind Side*, 2009) から収集した。コーパスでは広く浅く、映画では映画全体の流れから例文ひとつひとつを深く分析することを目的としている。

#### 3.1 Real conditional、Unreal conditional による分類結果

以下の表 2 のとおり、Real conditional、Unreal conditional による分類の結果、コーパスでは Real conditional が 79 例、Unreal conditional が 21 例、映画では Real conditional が 69 例、Unreal conditional が 11 例となった。カイ二乗検定を行った結果、コーパスと映画に有意な頻度差は無かった ( $\chi^2(1) = 1.141, ns$ )。また、正確二項検定を行った結果、コーパスと映画ともに、Real conditional と Unreal conditional の頻度の差は有意だった (どちらも  $p < .01$ )。

表 2 Real conditional、Unreal conditional による分類結果

	Real	Unreal	計
コーパス	79	21	100
映画	69	11	80
計	148	32	180

### 3.2 *if*節と主節の動詞パターンによる分類結果

*if*節と主節の動詞パターンによる分類結果は表3の通りになった。カイ二乗検定を行った結果、コーパスと映画に有意な頻度差は無かった ( $\chi^2(6)=7.133, ns$ )。コーパスと映画ともに、7パターンの頻度の差は有意だった (コーパス  $\chi^2(6)=80.296, p<.01$ 、映画  $\chi^2(6)=56.133, p<.01$ )。

表3 *if*節と主節の動詞パターンによる分類結果

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	計
コーパス	23	15	40	14	4	3	1	100
映画	25	16	24	7	7	1	0	80
計	48	31	64	21	11	4	1	180

Farr and McCarthy による POTTI の分類に対して、コーパスから抽出した例文では、③ alternative *if* structures が一番多いという結果になった。② First conditional、④ Second conditional、⑦ Third conditional を合わせると 30 例あるのに対して、その他 (①、③、⑤、⑥) は 70 例となっており、その他のほうが多かった。映画から抽出した例文では、① present simple - present simple が一番多かった。⑦ Third conditional は、0 例だった。② First conditional、④ Second conditional、⑦ Third conditional を合わせると 23 例あるのに対して、その他 (①、③、⑤、⑥) は 57 例となっており、その他のほうが多かった。内訳は表4と表5のとおりである。

表 4 if節と主節の動詞パターン(コーパス)

if-clause	main clause	数	備考
present simple	present simple	22	①
present simple	modal ( <i>can</i> )	3	①v <i>can</i> 3例
present simple	modal ( <i>will/may</i> )	15	② First conditional <i>will</i> 14例、 <i>may</i> 1例
present simple	<i>be going to</i>	1	②v
present simple	疑問	8	③
present simple	-	4	③
present simple	modal ( <i>must/would/should</i> )	3	③ 各1例
modal ( <i>must/may/would</i> )	present simple	3	③ 各1例
past simple	疑問	3	③
present progressive	modal ( <i>might/can</i> )	2	③ 各1例
past simple	modal perfect	2	③
present simple	modal ( <i>could</i> )	1	③
<i>be going to</i>	<i>be going to</i>	1	③
modal ( <i>can</i> )	modal ( <i>can</i> )	1	③
modal ( <i>can</i> )	<i>be going to</i>	1	③
modal ( <i>could</i> )	modal ( <i>could</i> )	1	③
modal perfect ( <i>would</i> )	modal perfect ( <i>would</i> )	1	③
past perfect	modal ( <i>would</i> )	1	③
past simple	present simple	1	③
past simple	modal ( <i>would</i> )	15	④ Second conditional
present simple	命令	4	⑤
present progressive	命令	2	⑤v
modal ( <i>can</i> )	命令	1	⑤v
past simple	past simple	3	⑥
past perfect	modal perfect	1	⑦ Third conditional

表5 *if*節と主節の動詞パターン(映画)

if-clause	main clause	数	備考
present simple	present simple	18	①
modal ( <i>can</i> )	present simple	2	①
modal ( <i>cannot</i> )	present simple ( <i>cannot</i> )	1	①
present simple	modal ( <i>can</i> )	3	① <sub>v</sub>
<i>be going to</i>	present simple	1	① <sub>v</sub>
present simple	modal ( <i>will</i> )	10	② First conditional
present simple	<i>be going to</i>	5	② <sub>v</sub>
present simple	疑問	5	③
present simple	modal ( <i>might/could</i> )	3	③ <i>might</i> 2例、 <i>could</i> 1例
past simple	疑問	3	③
present simple	-	2	③
past simple	modal perfect ( <i>would</i> )	2	③
past simple	present simple	2	③
present simple	present perfect	1	③
present simple	past simple	1	③
present progressive	modal ( <i>can</i> )	1	③
past progressive	past progressive	1	③
modal perfect ( <i>would</i> )	modal perfect ( <i>would</i> )	1	③
modal ( <i>would</i> )	past simple	1	③
modal ( <i>would</i> )	modal ( <i>would</i> )	1	③
<i>be going to</i>	modal ( <i>can</i> )	1	③
past simple	modal ( <i>would</i> )	7	④ Second conditional
present simple	命令	6	⑤
modal ( <i>can</i> )	命令	1	⑤ <sub>v</sub>
past simple	past simple	1	⑥

80

*be going to* は未来について言及するため、*will* と同じとして present simple – *be going to* の文は②の変種(②<sub>v</sub>)とした(コーパス1例、映画5例)。

*if*節のみのものが計6例あった。

- (15) Well, well. If it isn't MacGuff the Crime Dog! Back for another test? (COCA)
- (16) And if you are right at the beginning? (COCA)
- (17) And if we're unlucky? (COCA)
- (18) If I have to put up with your slovenly ... (COCA)

(19) Not if you use a knife. (The Blind Side, 2009)

(20) SJ, if you don't stop it right ... (The Blind Side, 2009)

映画の主節が疑問の8例のうち、3例に *what if ...?* が用いられていた。

(21) What if we took him to a child psychologist or something? (The Blind Side, 2009)

(22) What if he never comes back? (The Blind Side, 2009)

(23) What if I want to flip burgers? (The Blind Side, 2009)

if節に *past simple*、主節に *modal perfect* という例がコーパス・映画各2例ずつ<sup>7</sup>あった。

これは、過去形が過去完了形を代用することがあるからである (e.g. We didn't get any more than we (had) expected.)。

(24) If God intended everybody to be the same, he'd have given us all braces on our legs.

(COCA)

(25) Oh, God, Kato, if I knew how they were going to handle it, I never would have made the call

...

(COCA)

(26) And if anyone tried to get to me, you would have stopped them, alright?

(The Blind Side, 2009)

主節が疑問になっている *Second conditional* の例もコーパス・映画各1例ずつあった。

(27) How would you like it if I gave her a photocopy of your dossier, doctor? (COCA)

(28) But why would they go ahead if they knew he messed up? (The Blind Side, 2009)

### 3.3 Content conditional、Epistemic conditional、Speech-act conditional による分類結果

Sweetser (1991) に基づく分類の結果は表6のとおり、コーパスでは、Content conditional が58例、Epistemic conditional が6例、Speech-act conditional が36例、映画では、Content conditional が37例、Epistemic conditional が7例、Speech-act conditional が36例となった。カイ二乗検定を行った結果、コーパスと映画に有意な頻度差は無かった ( $\chi^2(2)=2.528, ns$ )。コーパスと映画ともに、Content conditional、Epistemic conditional、Speech-act conditional の頻度の差は有意だった (コーパス  $\chi^2(2)=40.884, p<.01$ 、映画  $\chi^2(2)=21.777, p<.01$ )。

<sup>7</sup> コーパス内に *Forrest Gump* (1994) が含まれていたため、コーパスの2例中1例と映画の2例中1例は同一である (= (22))。

表 6 Sweetser (1991) に基づく分類結果

	Content	Epistemic	Speech-act	計
コーパス	58	6	36	100
映画	37	7	36	80
計	95	13	72	180

### 3.4 各分類間の関係

Real conditional、Unreal conditional による分類と *if* 節と主節の動詞パターンによる分類との関係は表 7 のとおりである。

表 7 Real conditional、Unreal conditional と *if* 節と主節の動詞パターンによる分類の関係

Real								
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	計
コーパス	23	15	34	0	4	3	0	79
映画	25	16	20	0	7	1	0	69
計	48	31	54	0	11	4	0	148

Unreal								
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	計
コーパス	0	0	6	14	0	0	1	21
映画	0	0	4	7	0	0	0	11
計	0	0	13	21	0	0	1	32

Carter & McCarthy (2006, 項目番号 450) が述べたとおり Real conditional で使われる動詞のパターンは② First conditional とその他のパターン(①、③、⑤、⑥)であった。一方、Unreal conditional で使われる動詞パターンは④ Second conditional と⑦ Third conditional であると Carter and McCarthy (2006, 項目番号 450) は述べているが、分析の結果、ここでは④ Second conditional と⑦ Third conditional でなく③ その他に含まれている計 7 例も Unreal conditional に含めた。

*if* + simple past + *would have* p.p.

(29) If God intended everybody to be the same, he'd have given us all braces on our legs.

(COCA)

(30) Oh, God, Kato, if I knew how they were going to handle it, I never would have made the call  
 ... (= (25)) (COCA)

(31) And if anyone tried to get to me, you would have stopped them, alright? (= (26))  
 (The Blind Side, 2009)

if+過去完了+would V

(32) I'd have a flat stomach today if I had stayed a person and not become a mom. (COCA)

if+modal (could) V + modal (would/could) V

(33) If you knew him ... if you could picture him saying it ... it would be funnier. (COCA)

(34) I could eat you alive, if I could get this zipper down. (COCA)

if+modal (would) have p.p. + would have p.p.

(35) If I'd have known this was going to be the last time me and Bubba was gonna talk, I'd of  
 thought of something better to say.  
 (Forrest Gump, 1994)

Real conditional、Unreal conditional による分類と Content conditional、Epistemic conditional、  
 Speech-act conditional による分類との関係は表 8 のとおりである。

**表 8 Real conditional、Unreal conditional と Sweetser (1991) に基づく分類との関係**

Real

	Content	Epistemic	Speech-act	計
コーパス	38	6	35	79
映画	27	7	35	69
計	75	13	70	148

Unreal

	Content	Epistemic	Speech-act	計
コーパス	20	0	1	21
映画	8	0	3	11
計	28	0	4	32

Content conditional、Epistemic conditional、Speech-act conditional による分類との関係では、  
 Unreal conditional において、Epistemic conditional は 0 例、Speech-act conditional はコーパスで  
 1 例、映画で 3 例という結果になった。

(36) How would you like it if I gave her a photocopy of your dossier, doctor? (= (27)) (COCA)

(37) But why would they go ahead if they knew he messed up? (The Blind Side, 2009)

(38) If it wasn't a waste of a fine enlisted man, I'd recommend you for O.C.S., Private Gump.

(Forrest Gump, 1994)

(39) And I told you if you were ever a shrimp boat captain, that I'd be your first mate.

(Forrest Gump, 1994)

Content conditional、Epistemic conditional、Speech-act conditional による分類と *if* 節と主節の動詞パターンによる分類との関係は以下の表9のとおりである。

表9 Sweetser (1991) に基づく分類と *if* 節と主節の動詞パターンによる分類との関係

Content

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	計
コーパス	12	14	14	14	0	3	1	58
映画	11	14	7	5	0	0	0	37
計	23	28	21	19	0	3	1	95

Epistemic

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	計
コーパス	4	0	2	0	0	0	0	6
映画	5	0	1	0	0	1	0	7
計	9	0	3	0	0	1	0	13

Speech-act

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	計
コーパス	7	1	24	0	4	0	0	36
映画	9	2	16	2	7	0	0	36
計	16	3	40	2	11	0	0	72

Content conditional は、⑤ present simple – 命令以外に分類された。④ Second conditional はコーパスでは全 14 例がすべて Content conditional に分類されているが、映画では 7 例中 2 例が Speech-act conditional に分類された (= (33)、(36))。

Epistemic conditional は、① present simple – present simple と③その他に分類され、映画で 1 例だけ⑥ past simple – past simple に分類された。

(40) It was obvious, if anybody bothered to pay attention. (Drumline, 2002)

Speech-act conditional には、主節が命令の例文はコーパスで 7 例 (⑤4 例、③3 例)、映画で 7 例 (⑤) 分類された。③の中で主節が疑問の例文はコーパスで 11 例、映画で 8 例分類された。また、主節がない (13)、(14) も文末に「？」がついており、疑問文になっているこ



の2例も **Speech-act conditional** に分類された。このことから、主節が命令の *if* 文と主節が疑問の *if* 文は **Speech-act conditional** になるといえるのではないだろうか。

#### 4. 考察

コーパス・映画による分類・分析の結果、**Real conditional**、**Unreal conditional** の割合は図3のようになった。

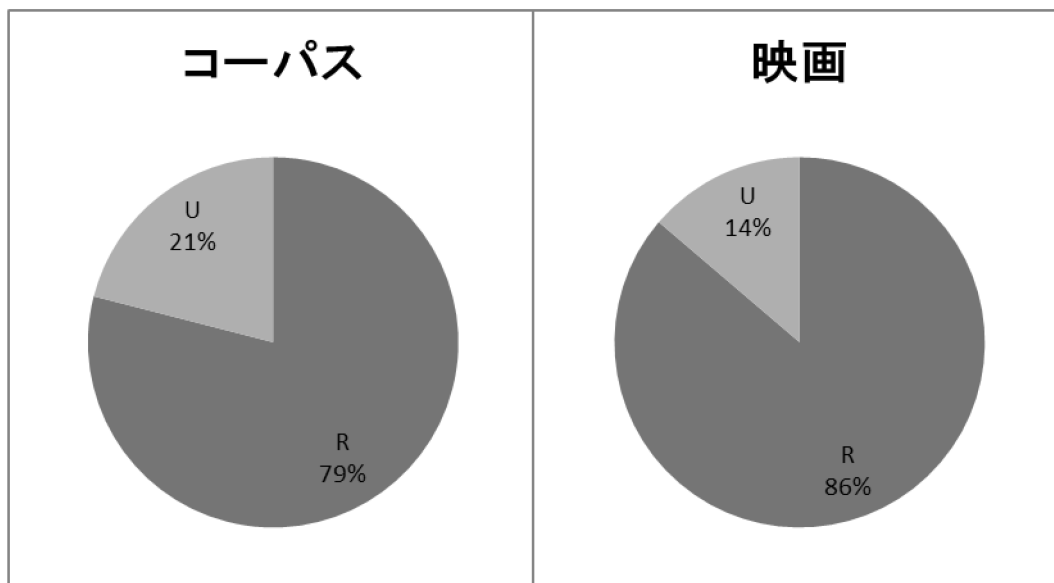


図3 **Real conditional**、**Unreal conditional** の割合

コーパス・映画ともに **Real conditional** の数が **Unreal conditional** の数を上回る結果となった。

*if* 節と主節の動詞パターンによる分類結果の割合は図4のようになった。

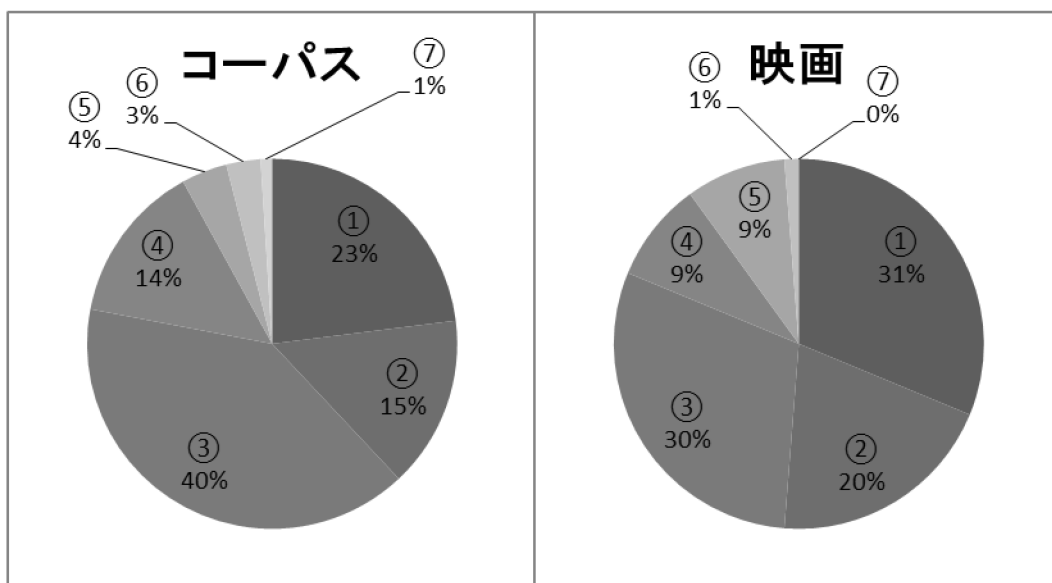


図4 if節と主節の動詞パターンの各パターンの割合

コーパスでは③ (alternative if structures) が最も大きい割合を占めたが、映画では① (present simple – present simple / progressive) が最も大きい割合を占めた。

Sweetser (1991) に基づく分類結果の割合は図5のようになった。

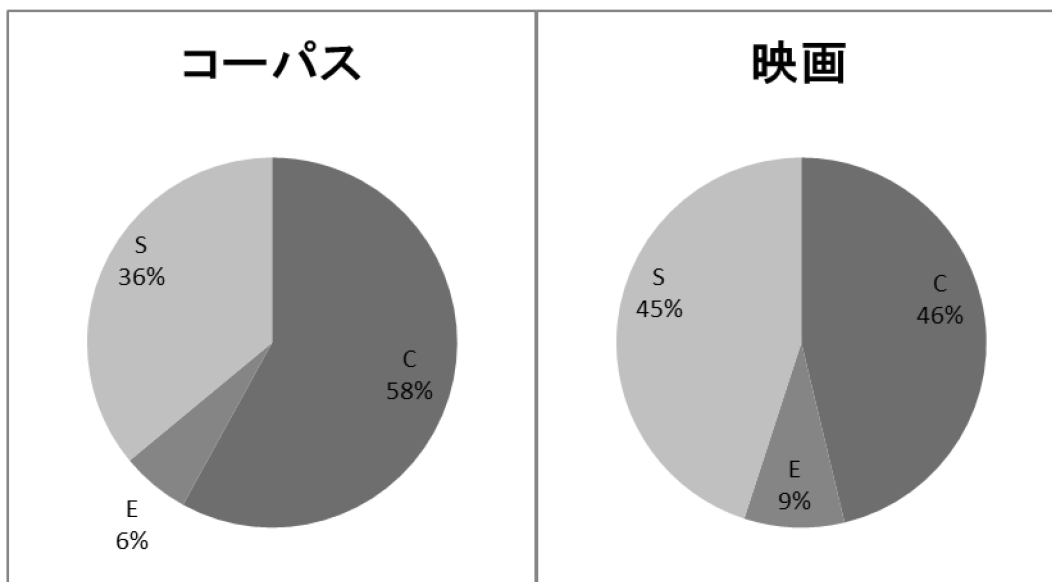


図5 Sweetser (1991) に基づく分類の割合

コーパス・映画ともに Content conditional が最も多く、次に Speech-act conditional、最後に Epistemic conditional という順になった。

なお、コーパス・映画ともに、主節が命令・疑問のものはすべて **Speech-act conditional** に分類された。このことから、その他の中にも **Unreal conditional** になるものは存在すると言えるだろう。

その他 (Farr & McCarthy では①、③、⑤、⑥) に含まれた *if* 節と動詞のパターンは表 10 のとおりである。

表 10 その他に含まれた *if* 節と主節の動詞パターン

<b>if-clause</b>	<b>main clause</b>		
present simple	present simple	①	R
present simple	modal ( <i>will/shall/may</i> 以外)	① <sub>v</sub>	R
<i>be going to</i>	present simple	① <sub>v</sub>	R
present simple	<i>be going to</i>	② <sub>v</sub>	R
present simple	present perfect	③	R
present simple	past simple	③	R
present simple	疑問	③	R
present simple	-	③	R
present progressive	modal	③	R
past simple	present simple	③	R
past simple	疑問	③	R/U
past simple	modal perfect	③	U
past progressive	past progressive	③	R
past perfect	would	③	U
modal	present simple	③	R
modal	past simple	③	R
modal	modal	③	R/U
modal	<i>be going to</i>	③	R
modal perfect	modal	③	U
<i>be going to</i>	<i>be going to</i>	③	R
<i>be going to</i>	modal	③	R
present simple	命令	⑤	R
present progressive	命令	⑤ <sub>v</sub>	R
modal	命令	⑤ <sub>v</sub>	R
past simple	past simple	⑥	R

その他 (①、③、⑤、⑥) の中で、① **present simple – present simple** は一番多く、コーパス 22 例 (その他 68 例中 32%)、映画 18 例 (その他 58 例中 31%) となっていた。主節が疑問のものがコーパスでは 11 例 (その他 68 例中 16%)、映画では 8 例 (その他 58 例中 14%) あった。主節が命令のものはコーパスで 7 例 (その他 68 例中 10%)、映画で 7 例 (その他 58 例

中12%)あった。これら3つのパターン以外のその他のパターンは、いずれもその他の中で10%以上にはならなかった。なお、present simple – be going to は、コーパスで1例、映画で5例あったが、First conditional の変種(②v)として考え、その他の数には含んでいない。このことから、if節と主節の動詞パターンとしては、First conditional、Second conditional、Third conditional に加えて、present simple – present simple、主節が疑問、主節が命令、その他のパターンがあると言えるだろう。

### 5. まとめ

これらの結果を踏まえて、コーパス・映画による分類・分析の結果から、図6のようにif文の用法をA~Oまでの16通り(Aの変種A'を含む)に整理することができるだろう(点線は頻度が低かったもの)。

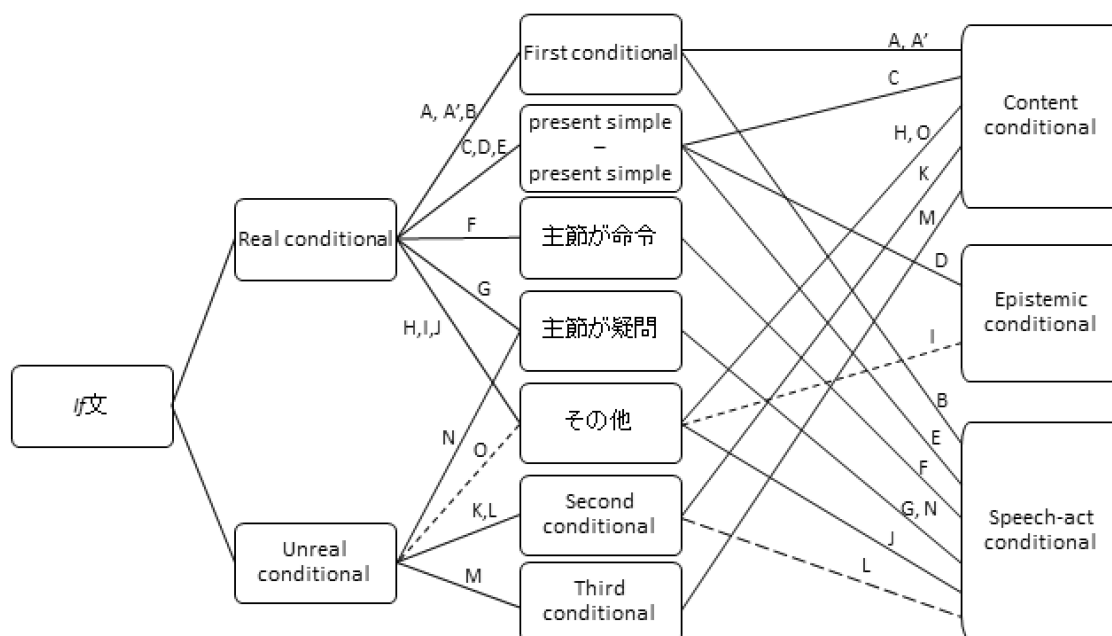


図6 if文の16通りの用法

#### A. Real conditional / First conditional / Content conditional

(41) There won't be a program if the alumni continue to lose interest. (Drumline, 2002)

(42) Now, if I accept Jesus into my heart, I'll get to walk beside him in the kingdom of heaven.

(Forrest Gump, 1994)

A'. Aの変種 (*will* が<sup>8</sup> *be going to* に)

(43) If you grab 'em outside here like this without horse colour thing, you just did, we're going to get flagged and I'm gonna get pissed. (The Blind Side, 2009)

B. Real conditional / First conditional / Speech-act conditional

(44) If there's anything you need, I won't be far away. (Forrest Gump, 1994)

C. Real conditional / present simple – present simple / Content conditional

(45) Well, he's in line for football scholarship if he gets his grades up. (The Blind Side, 2009)

D. Real conditional / present simple – present simple / Epistemic conditional

(46) If you're here, it's because you believe in musicianship. If you're here, it's because you believe in Coltrane, Miles Davis, Stevie Wonder, and the elements known as Earth, Wind & Fire. If you are here, it is because you have a fervent, unequivocal belief in teamwork!

(Drumline, 2002)

(47) If you're ever a shrimp boat captain, that's the day I'm an astronaut! (Forrest Gump, 1994)

E. Real conditional / present simple – present simple / Speech-act conditional

(48) If you boys are hungry, we got<sup>8</sup> steaks burning right over here. (Forrest Gump, 1994)

F. Real conditional / 主節が命令 / Speech-act conditional

(49) If you are here for band training, gather round! (Drumline, 2002)

(50) Sit down if you want to. (Forrest Gump, 1994)

G. Real conditional / 主節が疑問 / Speech-act conditional

(51) If music is what you love, why wouldn't you go to class? (Drumline, 2002)

---

<sup>8</sup> *have got* の *have* が脱落している。

(52) And if you weren't the Chief, how did you get that headdress? (*The Blind Side*, 2009)

(53) What if he never comes back? (= (22)) (*The Blind Side*, 2009)

H. Real conditional / その他 / Content conditional

(54) I bet if I think about it real hard, I could remember my first pair of shoes.  
(*Forrest Gump*, 1994)

(55) From that day on, if I was going somewhere, I was running. (*Forrest Gump*, 1994)

I. Real conditional / その他 / Epistemic conditional

(56) It was obvious, if anybody bothered to pay attention. (= (40)) (*Drumline*, 2002)

J. Real conditional / その他 / Speech-act conditional

(57) You know, uh, if you're looking for a job this summer, you can give me a call too.  
(*Drumline*, 2002)

K. Unreal conditional / Second conditional / Content conditional

(58) I wouldn't be here if it wasn't for you. (*Drumline*, 2002)

L. Unreal conditional / Second conditional / Speech-act conditional

(59) If it wasn't a waste of a fine enlisted man, I'd recommend you for O.C.S., Private Gump. (= (38))  
(*Forrest Gump*, 1994)

M. Unreal conditional / Third conditional / Content conditional

(60) You think I would've let her tell her story if they hadn't lied about me? (COCA)

N. Unreal conditional / 主節が疑問 / Speech-act conditional

(61) How would you like it if I gave her a photocopy of your dossier, doctor? (= (27)、(36))  
(COCA)

(62) But why would they go ahead if they knew he messed up? (= (28)、(37))  
(*The Blind Side*, 2009)

O. Unreal conditional / その他 / Content conditional

(63) If God wanted everybody to be the same, he'd have given us all braces on our legs. (= (24)、  
(29)) (Forrest Gump, 1994)

(64) And if anyone tried to get to me, you would have stopped them, alright? (= (26)、(31))  
(*The Blind Side*, 2009)

参考文献

Carter, R., & McCarthy, M. (2006). *Cambridge Grammar of English: A Comprehensive Guide; Spoken and Written English Grammar and Usage*. Cambridge: Cambridge University Press.

Hancock, L. J. (Director). (2009). *The Blind Side* [Motion Picture].

O'Keeffe, A., McCarthy, M., & Carter, R. (2007). *From Corpus to Classroom: Language Use and Language Teaching*. Cambridge: Cambridge University Press.

Stone, C. (Director). (2002). *Drumline* [Motion Picture].

Swan, M. (2005). *Practical English Usage Third Edition*. Oxford: Oxford University Press.

Sweetser, E. (1991). *From etymology to pragmatics*. Cambridge: Cambridge University Press.

Zemeckis, R. (Director). (1994). *Forrest Gump* [Motion Picture].

柏野健次. (2010). 『英語語法レファレンス』. 三省堂.

小西友七, 南出康世. (2006). 『ジーニアス英和辞典 第4版』. 大修館書店.

森靖子. (2015) 「if文の用法」. 麗澤大学大学院言語教育研究科英語教育専攻修士論文.

